

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【公開番号】特開2007-104406(P2007-104406A)

【公開日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2007-015

【出願番号】特願2005-292503(P2005-292503)

【国際特許分類】

H 04 N 7/18 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/18 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月4日(2008.7.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第一の映像信号伝送装置の出力に信号ケーブルを介して接続可能な入力端子を有し、当該入力端子からの映像信号が入力されるデイジーチェーン接続入力回路と、

第二の映像信号伝送装置の入力に信号ケーブルを介して接続可能な出力端子を有し、当該出力端子からの映像信号を出力するデイジーチェーン接続出力回路と、

映像信号を出力する映像信号出力機器に接続可能であり、当該映像信号出力機器から入力される映像信号を前記デイジーチェーン接続出力回路に出力する映像入力回路とを備え、

前記デイジーチェーン接続入力回路及び前記デイジーチェーン接続出力回路は直流結合回路により構成され、

前記映像入力回路は、前記映像信号出力機器と前記デイジーチェーン接続出力回路との間を接続状態又は非接続状態に切り替える切替部と、前記切替部の出力に接続される第一の出力トランジスタとを有し、前記切替部は前記映像信号出力機器と前記デイジーチェーン接続出力回路との間に非接続状態の場合に、前記第一の出力トランジスタに0バイアスをかけ、前記第一の出力トランジスタをカットオフし、前記映像信号出力機器と前記デイジーチェーン接続出力回路との間に接続状態の場合に、前記第一の出力トランジスタは前記映像信号出力機器の出力信号のバイアスによりオンし、前記デイジーチェーン接続出力回路から前記映像信号出力機器の信号を出力し、

前記デイジーチェーン接続入力回路は、前記第一の映像信号伝送装置から映像信号が入力されない場合、オフとなり、前記第一の映像信号伝送装置から映像信号が入力された場合、前記映像信号のバイアスによりオンする第二の出力トランジスタを有する映像信号伝送装置。

【請求項2】

請求項1に記載の映像信号伝送装置であって、

前記映像入力回路は、前記映像信号出力機器から入力される映像信号の基準レベルを所定のレベルにクランプするクランプ回路を有する映像信号伝送装置。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の映像信号伝送装置を複数備える映像信号伝送システムであって、

複数の前記映像信号伝送装置の切替部を制御し、一つの映像信号出力機器を選択する操作入力装置を有する映像信号伝送システム。